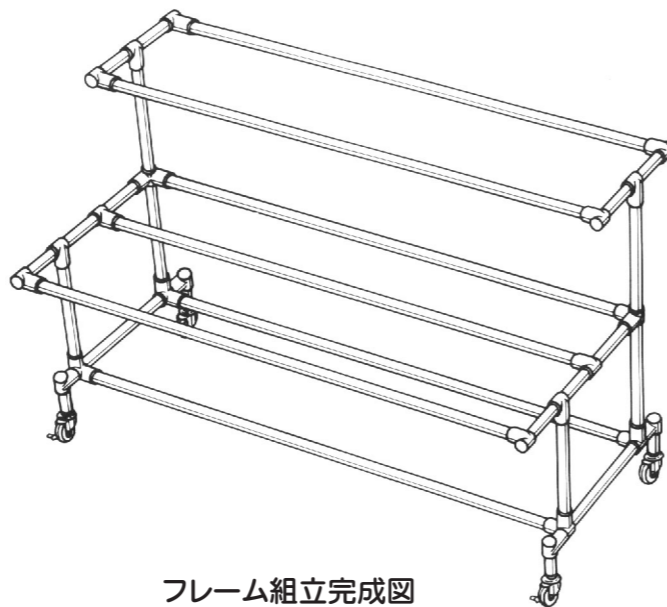




花台

FKL-1042

サイズ
 (容器組込み時) 間口 奥行 高さ
 約100×52×73cm
 (フレームのみ) 約100×52×65cm



フレーム組立完成図

※ご使用前にこの「組立説明書」を必ずよくお読みください。

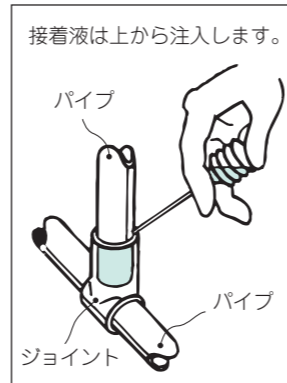
- 警告** ... 取り扱いを誤った場合「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。
- 注意** ... 取り扱いを誤った場合「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。
- 注意** ... 必ず守っていただきたい内容を説明しています。

！組み立て作業上のご注意

- 警告** ● **接着作業は室内で行わないでください。**
 接着液は、パイプとジョイントを接着するために有機溶剤を使用しています。換気の悪い室内で接着作業を行ないますと、気分が悪くなり有機溶剤中毒となるおそれがありますので、接着作業は室内で行わないでください。やむをえず室内で作業をする場合は、十分な換気を行ない、臭いがない状態を継続し安全であることを確認しながら作業をしてください。
- **接着を忘れないでください。**
 パイプとジョイントの連結部分は、必ず接着してください。使用時にはずれて破損するおそれがあります。製作物のご使用前には、全て接着されているかを確認してからご使用ください。
- **「イレクター専用のサンアロー接着液」は、引火性がありますので火気のあるところでは使用しないでください。**
 接着作業場ではタバコを吸わないでください。また、静電気による発火にも気をつけてください。

- 注意** ● **パイプの切り口に触れないでください。**
 切断したパイプ切り口の内側は、バリが出た刃物のようになっていますので、パイプの切り口に指を入れたり、手のひらで押しつけてパイプや手を回転させないでください。切傷を負うおそれがあります。パイプを切断した後は、必ず面取り器やヤスリなどでバリを削ってください。

- 注意** ● **組立前には、パイプとジョイントをきれいにふいてください。**
 接着強度を得るため、接着部のほこり・水・油などの汚れをふき取ってから組み立ててください。
- **パイプとジョイントはしっかり連結してください。**
 設計した寸法通りに組み立てるため、パイプはジョイントの奥までしっかりはめ込み、ねじれや傾きがないように連結してください。
- **接着は、必ず「イレクター専用のサンアロー接着液」を使用してください。**
 サンアロー接着液以外の接着液・接着剤は、使用できません。他の接着液を使用して組み立てた場合の強度は保証できません。
- **接着液は、ていねいに注入してください。**
 接着強度を得るため、接着液は、接着面に均一に注入し、あふれないように注意してください。接着液があふれた場合は、他との接触に注意し、ふき取らずに自然乾燥させてください。
- **接着後は、はずれません。よく確認してから接着してください。**
 接着液は乾燥するとはずれません(剥離剤等もありません)ので、ジョイントの向きをよく確認してから接着を行なってください。
- **ジョイント1ヶ所当たりの接着液量は、約0.7mlを目安として考えてください。**
 ジョイントの種類によって異なりますが、1ヶ所当たりの接着液量は、約0.7mlを目安として考えてください。スポイト半分の量で約12ヶ所接着できます。
- **注入直後は、動かさないようにしてください。**
 接着液は、速乾性ですが、注入直後はパイプが抜けたり、全体がねじれる場合がありますので、15分は動かさないでください。製作物は接着後24時間経過以降に使用してください。



組み立て・接着のご注意 を読んだら **組立開始!**

組み立て

次の順に行なってください。



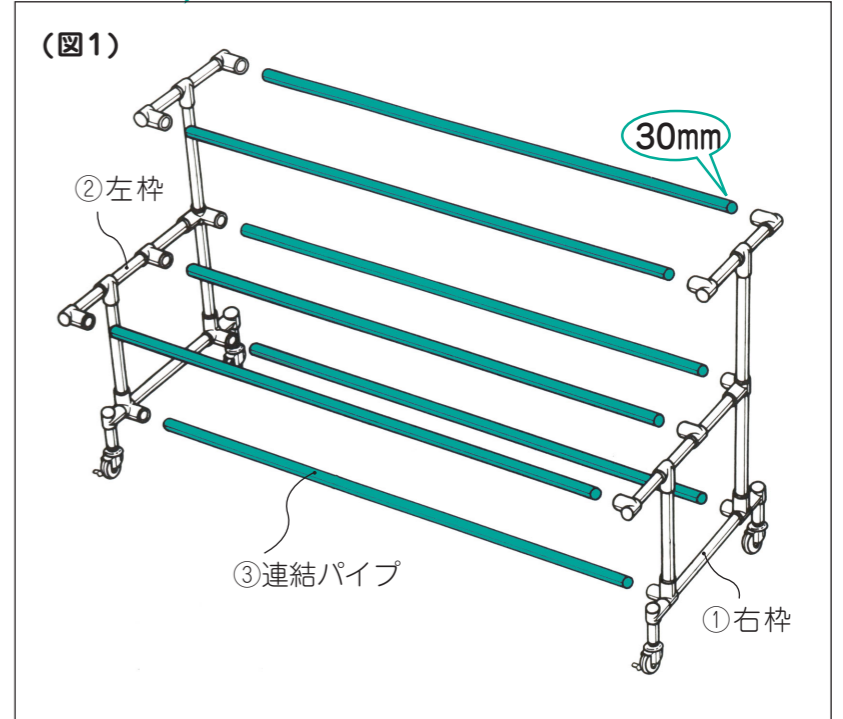
■ 部品の確認

部 品 表					
部品名	数量	部品名	数量	部品名	数量
① 右 枠	1	接着液(15ml)	1	角 容 器	8
② 左 枠	1	ス ポ イ ト	1	仕 切 り 板	16
③ 連結パイプ	7				

30mm このマークは、パイプとジョイントのはめ合い寸法を表わします。あらかじめパイプに、ペンでマーキングをしておくと便利です。

1 花台フレームの組み立て

1. 組み立ては、枠を寝かせると楽に行えます。一方の枠に連結パイプをさし込み、次いで他方の枠を組み込んでください。(図1)
2. 組み立て後、ねじれ・傾きがないことを確認して接着を行なってください。



2 仕切り板の組み立て及び、角容器の取り付け

1. 2枚の仕切り板を図2の様に組み合わせてください。
2. 組み合わせた仕切り板を角容器にさし込み、ぐらつかなくなるところまで軽く押しつけてください。(図3、深さは約8cm位)
3. 各段に、角容器が4個入るように並べてください。(図4)

